

- I. 研修の理念・基本方針
- II. 研修プログラムの概要と特徴
- III. 研修指導医
- IV. 研修カリキュラム
- V. 研修医の処遇
- VI. 研修医の募集

診療各科プログラム 2021.04/01

## I. 研修の理念・基本方針

### 【理念】

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着ける。将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得する。

## II. 研修プログラムの概要と特徴

### 1. プログラムの名称

埼玉県心会病院臨床研修プログラム

### 2. プログラムの特徴

初期臨床研修とは「医者の基本」を徹底して学ぶための研修である。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻繁に遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着ける」。当院ではこの2つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力が身に付く指導をしている。

当院は地域の中核的な超急性期病院であるため、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つである。臓器にとらわれない「Generalist の視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を目指している。

#### 1) バランスのとれた基本的臨床能力の研鑽

救急患者や重症患者が多いため、気管挿管、胸腔ドレナージ、中心静脈路確保などのベッドサイド手技の件数が圧倒的に多いことも研修の魅力の一つではあるが、単に手技を身につけることを重視してはいない。Attitude (患者との接し方、問題解決能力)・Skill (手技)・Knowledge (知識)のバランスが重要であり、手技以上に病歴聴取・身体診察を重視した臨床推論、カルテ記載、症例プレゼンテーションなどの基本的臨床能力の研鑽を重視している。

#### 2) 救急研修の工夫

1年次と2年次の2回に分けて救急ローテーションを行い、屋根瓦式診療でバックアップによる安全性ときめ細かいフィードバックがもらえる体制を整えている。また救急ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行う。診療の振り返りを行いながら課題を見つけ、ステップアップ的に初期救急対応能力を身に着けることができる。

#### 3) 医学教育の手法

症例や手技をただ多く経験すれば良い研修ができるわけではない。経験した症例や手技について丁寧に指導医とのディスカッションを重ねてフィードバックをもらうことが大切である。診療を振り返り、自らの気づきや課題を見つけて学びを促していく「Reflective Learning」の教育手法を大切にしている。日々反省と実践を繰り返しながら必要な知識と技術が確実に身につくような研修に力を注いでいる。

#### 4) 豊富な教育行事と「学び教え合う文化」

研修医向け勉強会が豊富にあり、学んだことを常に仲間と共有(シェア)していく文化が根付いている。医局が一つになっており診療科の垣根がないため、指導医や先輩研修医と気軽に語り合える和気藹々とした雰囲気がある。初期研修医に対する教育に理解と情熱がある指導医が多く、指導医と研修医がお互いに教え合い学び合う文化を大切にしている。

### 3. プログラム責任者・研修施設

- 1) プログラム責任者 元 志宏
- 2) 副プログラム責任者 池田 直史
- 3) 研修指導医 第Ⅲ章 研修指導医 参照
- 4) 研修協力施設

#### <協力型病院>

- ① 埼玉医科大学病院(小児科/産婦人科/精神科)
- ② 西埼玉中央病院(小児科/産婦人科)
- ③ 済生会川口総合病院(小児科)
- ④ 川越同仁会病院(精神科)
- ⑤ 独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院(産婦人科)
- ⑥ 高月病院(精神科)

#### <研修協力施設>

- ① 国保町立小鹿野中央病院(地域医療)
- ② 南魚沼市民病院(地域医療)
- ③ さやま総合クリニック(地域医療)
- ④ 知床らうす国民健康保険診療所(地域医療)
- ⑤ 宮古島徳洲会病院(地域医療)

### 4. 初期臨床研修医定員

10名

### 5. 研修カリキュラム

臨床研修に関する省令(医師法第16条の2第1項)を順守し、厚生労働省の掲げる「臨床研修の到達目標」を達成するために当院のカリキュラムを実行する(第Ⅳ章・第Ⅶ章参照)。

### 6. プログラム終了後の進路

当院は内科及び総合診療科の基幹施設であり内科、総合診療科のみ専攻医として3年目以降も残ることができる。

### Ⅲ. 研修指導医(2020年04月現在)

研修実施責任者 石原正一郎(埼玉石心会病院・院長)

・研修プログラムの管理運営については、研修管理委員会を定期的に行い検討する。

研修管理委員会委員長/プログラム責任者：元 志宏

副プログラム責任者：池田 直史

#### 各科研修指導責任者

総合診療科	酒井利幸
循環器内科	荒巻和彦
消化器内科	阿部敏幸
内分泌・代謝内科	小野田教高
糖尿病内科	根田保
腎臓内科	元 志宏
神経内科	望月温子
外科	荻野健夫
心臓血管外科	加藤泰之
乳腺・内分泌外科	児玉ひとみ

整形外科	山田哲也
脳神経外科	都築伸介
形成外科	工藤 聡
泌尿器科	實重 学
救急科	西 紘一郎
小児科	岩村 透
皮膚科	椎名雄樹
麻酔科	後藤晃一郎
リハビリテーション科	白石哲也

#### コメディカル部門指導者

看護部	福島俊江	薬剤部	大木孝夫
コメディカル部	間山金太郎	事務部	工藤秀行

#### 協力型病院・研修協力施設指導医

小児科	大山昇一(済生会川口総合病院) 徳山研一(埼玉医科大学病院) 小穴慎二(西埼玉中央病院)
精神科	高橋恵介(川越同仁会病院) 松尾幸治(埼玉医科大学病院) 長瀬輝誼(高月病院)

産婦人科	石原理(埼玉医科大学病院) 石井賢治(西埼玉中央病院) 中川 博之(埼玉病院)
地域医療	内田 望(小鹿野中央病院) 加計正文(南魚沼市民病院) 菅野壮太郎(さやま総合 CL) 木島 真(知床らうす国民 健康保険診療所) 斉藤憲人(宮古島徳洲会病院)

## IV. 研修カリキュラム

### 1. 研修目標

厚生労働省が定める「臨床研修の到達目標」に示された行動目標および経験目標を到達することが目標である。

→第七章:別表の「臨床研修の到達目標」を参照

### 2. 研修方略

#### 【埼玉石心会病院臨床研修プログラム】

内科 32 週、救急 12 週(救急 8 週、麻酔 4 週)、外科 12 週、地域医療 4 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週の合計 72 週を必修ローテーションとする。必修以外は各自のニーズに合わせた自由選択ローテーションが可能である。ただし「臨床研修の到達目標」を達成するために、可能な限り幅広く選択ローテーションすることを推奨する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(総診8週、腎内8週、消内8週、循内8週) 32週						救急 4週	外科(消外8週・他外4週) 12週				麻酔(救急) 4週
2年次	救急 4週	地域医療 4週	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	選択ローテーション 32週						

1)内科 32 週:総合診療科(※)8 週、腎臓内科 8 週、消化器内科 8 週、循環器内科 8 週が必須。

※総合診療科(主に内科領域、神経、呼吸器、内分泌、糖尿病内科を研修する)

2)救急 12 週:1年次に 4 週、2年次に 4 週必須。

※麻酔科、救急当直(月に数回)と毎週半日の救急研修を合わせて合計 12 週以上とカウントする。

3)外科 12 週:消化器外科+乳腺・内分泌外科 12 週(または消化器外科+乳腺・内分泌外科 8 週+外科系 4 週)が必須。

※外科系:消化器外科、心臓血管外科、整形外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科

4)麻酔科(救急):4 週必須

5)小児科:2年次に 4 週必須。

研修協力施設:埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/済生会川口総合病院(8 週)

※一般外来研修を含む

6)産婦人科:2年次に 4 週必須。

研修協力施設:埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/埼玉病院

7)精神科:2年次に 4 週必須。

研修協力施設:埼玉医科大学病院/川越同仁会病院/高月病院

8)地域医療:2年次に 4 週必須。

研修協力施設:町立小鹿野中央病院、南魚沼市民病院、さやま総合クリニック

知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院

※一般外来研修および在宅医療研修を含む

9)選択ローテーション:合計 32 週

以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低 4 週以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可(必修科と選択ローテーションを分けずに必修科を延長することも可)。

総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病/内分泌・代謝内科、外科(消化器外科、乳腺・内分泌外科)、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、

## リハビリテーション科

### 10) その他:

- ・4月初めに入職時オリエンテーションあり(約1週間)。
- ・ローテーションの順序は研修医ごとに異なる。
- ・年度始めに各研修医と協議の上、研修管理委員会でローテーション表を作成する。
- ・他科ローテーション中も2年間通じて週に半日の救急研修を継続する(0.5日×約50回/年)。
- ・同時期に同一診療科をローテートできる研修医は原則として1学年2名までとする。

【診療各科プログラム】 → 第七章: 付表を参照

### 【当直研修】

- ・月に4~6回の当直研修を行う。
- ・研修医は全科救急の初療を上級医(内科系指導医、外科系指導医、救急指導医)の監督・指導のもとに行う。
- ・研修医は重症度に関わらず、すべての救急患者の診療に携わる。
- ・病棟患者の急変対応を上級医とともにやる。
- ・原則的に2年次研修医と1年次研修医がペアになって当直研修を行う。
- ・研修医は1回の当直ごとに自らが診療した全症例について所定の簡単な記録を作成する。指導医と必ず振り返りを行い、フィードバックをもらって次の学びへつなげる。
- ・当直明けは原則半日休暇を取得することができる。

### 【教育に関する行事(勉強会・セミナーなど)】

#### 1) モーニングセミナー

毎週朝に開催。プレゼンテーションのコツ、輸液の選び方、心電図の読み方など、基本的知識やスキルの獲得を目的としたショートセミナーを各科の指導医が行う。

#### 2) ランチョンセミナー

毎週昼に開催。内容は ACLS/JATEC/JMECC などの救急ガイドライン、研修医必須の各科ガイドライン、症候論勉強会、感染症セミナー、英語抄読会など。指導医のみならず研修医も講師としてレクチャーを行う。

#### 3) リフレクションカンファレンス

毎月2回開催。研修医・指導医が救急症例について提示し、症例検討やワンポイントレクチャーを行う。

#### 4) 臨床病理検討会(CPC)

2カ月に1回開催。剖検症例を対象に、臨床経過のプレゼンテーション後に病理医から病理所見の解説がなされ、ディスカッションを行う。

#### 5) 内科症例検討会

2カ月に1回開催。内科スタッフ・後期研修医が症例提示。研修医への教育的配慮をした勉強会を行う。

#### 6) 英語抄読会

月1~2回開催。原著論文、総説、洋書などを使用し、担当者を決めて司会・進行、プレゼンテーションを行う。

#### 7) 院内職員向け勉強会

病院職員向けに様々なテーマで定期開催されている。研修医参加必須の勉強会あり。

## 8) 緩和ケア研修会

「緩和ケア研修会」では、緩和ケアの基本を修得することができます。講義部分を e-learning での事前学習とし、ワークショップ部分を集合研修で行う形式となります。研修内容は、がん疼痛などの身体症状と精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーション技術、グリーフケア等を含むプログラムとなっています。研修会を修了した医師には厚生労働省の発行する修了証書が交付されます。

## 9) 研修医研究発表会

毎年の年度末に開催。各自でテーマを決めて学会形式で症例報告や臨床研究の発表を行う。

## 3. 研修医評価

### 1) 研修医の自己評価

- ・研修医は各ローテーション終了時に自己評価と各診療科の研修内容、経験すべき症候・疾病・病態の病歴要約を遅延なく作成。併せて EPOC2 に記録し、指導医から評価を受ける。
- ・2年間の研修終了時まで、研修カリキュラム全体についての評価を EPOC2 に入力する。
- ・外部研修終了時(産婦人科、小児科、精神科、地域医療)に研修報告書を作成し、指導医から評価を受ける。

### 2) 指導医・看護師など医師以外の研修医評価

- ・定期的開催される研修管理委員会にて各研修医の研修状況を随時報告し評価する。各診療科の指導医は研修医がローテーションを終える毎、看護師などの医師以外のスタッフは研修医の研修成果につき、遅滞なく EPOC2 に評価を記載する。すべての評価結果は研修管理委員会にて総括的に評価し各研修医へフィードバックする。

### 3) 研修医による指導医評価

- ・研修医は各科ローテーション終了時に、当院所定の評価法に従って指導医評価を行う。
- ・指導医評価の結果は研修管理委員会に提出され評価を行い、各指導医へフィードバックする。

### 4) 研修医・指導医による研修プログラム評価

- ・当院所定の評価法に従って研修医と指導医による研修プログラム評価を行う。
- ・研修プログラム評価は研修管理委員会に提出され、次年度のプログラム改訂が検討される。

### 5) プログラム責任者による総括的評価と修了認定

- ・研修医手帳による評価、各診療科の指導医による研修医評価、厚生労働省の定める到達目標の達成状況、種々の教育的行事への参加状況、看護師など医師以外の研修医評価についてプログラム責任者は総括的に評価し、研修管理委員会にて修了認定を諮る。

### 6) 研修の安全確保体制

#### 《研修医の業務範囲》

- ① 1年目研修医: 患者の診療を上級医、指導医の監督・指導のもと担当する。
- ② 2年目研修医: 各研修医の到達レベルに応じ、患者の診療行為を行うことができる。治療方針の決定は指導医、上級医との協議の上で行う。
- ③ 共通:
  - ・麻薬処方、抗がん剤のオーダーは行うことができない。
  - ・抗がん剤治療目的の血管確保は行うことができない。
  - ・侵襲度の高い処置は必ず上級医の指導のもとに行う。
  - ・家族への説明は、治療方針の決定や容態変化時などの際は上級医が行う。

- ・日々の状態説明は研修医が行ってもよいが、指導医との説明内容統一と確認が必要である。
- ・当直業務を行うさいには、必ず正当直の指導のもと患者の診療にあたり、単独で診療、説明を行わない。
- ・外部医療機関における研修目的以外での単独診療は禁止とする。

#### 《研修中の患者の安全確保体制》

- ① 入院患者は主治医、受け持ち医のチームで診療を受ける。
- ② 患者の日々の診療、カルテ記載がチームで行われ、上級医は直接・間接的に研修医の診療内容を確認する。
- ③ 研修医の診療に疑義が生じた場合、看護師、薬剤師ほかコメディカルスタッフから直接上級医に連絡。

## V. 研修医の処遇

1) 身分: 常勤医

2) 勤務時間: 午前8時30分から午後5時(土曜日は午後1時まで)、休憩時間: 1時間

3) 給与: 1年次: 基礎給250,000円+業務加算手当150,000円(時間外75時間分含む)

2年次: 基礎給280,000円+業務加算手当170,000円(時間外75時間分含む)

※(当直手当は別途支給)(賞与なし)

4) 当直: 月に数回(翌日は午後休みを取得する事ができる)

#### 【当直手当】

《1年次》 平日: 11,000円、土曜: 16,500円、日祝日: 日当直 27,500円 日直 11,000円 当直16,500円

《2年次》 平日: 20,000円、土曜: 25,000円、日祝日: 日当直 45,000円 日直 20,000円 当直25,000円

5) 休暇: 有給休暇あり(夏休み2日、年末年始休暇あり) 学会参加は年2回まで休暇取得可能。参加費及び交通費の支給あり。

6) 研修医室: 有

7) 健康管理: 健康診断(年2回)

8) 宿舎: あり(自己負担一部あり)

9) 保険: 健康保険・社会保険・年金保険・労災保険あり。

10) 医師賠償保険: 勤務医賠償保険に個人で加入(病院としても医師賠償責任保険に加入している)

11) アルバイト診療は禁止

12) 外部施設での研修中について研修先の勤務日に従う。

埼玉医科大学病院(小児科研修/産婦人科研修/精神科研修): 土曜日勤務あり。当直あり。

済生会川口総合病院(小児科研修): 土曜日原則休み。当直なし。

西埼玉中央病院(小児科研修/産婦人科研修): 土曜日原則休み。当直なし。

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院(産婦人科研修): 土曜日原則休み。当直あり。

川越同仁会病院(精神科研修): 土曜日 AM 勤務あり。当直なし。

高月病院(精神科研修): 土曜日原則休み。当直なし。

小鹿野中央病院(地域研修): 土曜日隔週で休み。当直なし。

南魚沼市民病院(地域研修): 土曜日 AM 勤務あり。当直あり。

さやま総合クリニック(地域研修): 土曜日 AM 勤務あり。当直なし。

知床らうす国民健康保険診療所(地域研修): 土曜日原則休み。当直あり。

宮古島徳洲会病院(地域研修): 土曜日 AM 勤務あり。当直あり。

## VI. 研修医の募集

1) 募集定員: 10 名 (予定)

2) 募集方法: マッチングに参加。病院ホームページの募集要項を参照し応募する。

(募集期間・選考方法など募集要項の詳細は毎年6月に更新して病院ホームページに掲載する。)

3) 応募必要書類

- ① 履歴書 (当院所定書式)
- ② 身上書 (当院所定書式)
- ③ 成績証明書
- ④ 卒業見込証明書 (または卒業証明書)
- ⑤ 医師免許証 (既卒者のみ)

4) 選考方法: 書類選考及び面接

5) 申込み・問い合わせ先:

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2-37-20

社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 医師採用担当 : 関 雅昭

電話番 : 04-2953-0909 E-mail : masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020年4月27日

都道府県知事

病院名 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院  
開設者 社会医療法人財団 石心会 理事長 石井 暎禧 印

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－から－5－まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030142

臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

記入日：西暦 2020 年 4 月 27 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030142	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 埼玉石心会病院臨床研修病院群 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ セキ マサアキ 氏名(姓) (名) 関 雅昭		役職 法人事務局 医師招聘部 埼玉石心会病院 初期臨床研修担当 (内線 1974) (直通電話 (04) 2953—0909) e-mail : soumu@saitama-sekishinkai.org (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シャカイイリョウホウジンザイダン セキシンカイ サイトマセキシンカイビョウイン 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> - <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> ( 埼玉県 ) 狭山市入間川 2-37-20 電話 : (04) 2953—6611 F A X : (04) 2953—8040 二次医療圏 の名称 : 埼玉県西部		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ リヅチョウ イシ イキ (シャカイイリョウホウジンザイダン セキシンカイ) 理事長 石井 暎禧 (社会医療法人財団 石心会)		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> - <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/> ( 埼玉県 ) 川崎市幸区都町 39 番地 1 電話 : (044) 511—2266 F A X : (044) 540—1135		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イシハラ ショウイチロウ 姓 名 石原 正一郎		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://saitama-sekishinkai.jp		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 127 名、非常勤（常勤換算）： 10.7 名 計（常勤換算）： 137.7 名、医療法による医師の標準員数： 29 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2017 年 11 月 7 日、告示番号：第 1200 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 ( 746.080 ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 18,680 件（うち診療時間外： 8,662 件） 1日平均件数： 51.2 件（うち診療時間外： 23.7 件） 救急車取扱件数： 8,802 件（うち診療時間外： 5,219 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3 名、看護師及び准看護師： 5 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 (0) 無） 外科系（1. 有 (0) 無） 小児科（1. 有 (0) 無） その他（ 救急科 ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 450 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 13.4 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 0 件、異常分娩件数： 0 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 5 回、今年度見込： 5 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 15 件、今年度見込： 20 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 ( ) 大学、( ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 20 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	(1) 有 ( 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 63.650 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 550 冊、国外図書： 17 冊 ※その他電子図書多数あり。
	医学雑誌数	国内雑誌： 57 種類、国外雑誌： 15 種類 ※その他電子雑誌多数あり。
	図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1) 有 0. 無)、 その他 ( ) 利用可能時間 ( 0:00 ~ 24:00 ) 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ( )	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ いなよし あきら 氏名(姓) 稲吉 (名) 亮 役職 係長		
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )		
	診療録の保存期間	( 永久保存 ) 年間保存		
	診療録の保存方法	1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に: )		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 ( 1 名 ) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 ( 4 ) 名、兼任 ( 15 ) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 インシデント・アクシデントレポートによる情報収集及び集計、医療事故防止の為の研修及び教育の実施		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	ツガナ タカハシ ジュン 氏名(姓) 高橋 (名) 順 役職 看護師長	
		対応時間 ( 8 : 30 ~ 17 : 00 ) 24 時間表記		
		患者相談窓口に係る規約の有無：	① 有 0. 無	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容： 患者誤認、誤薬、輸血、転倒・転落、手術、窒息、人工呼吸器、麻薬事故、MRI、針刺し事故等の防止		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 12 ) 回 活動の主な内容： インシデント・アクシデントレポートの内容検討、業務マニュアルの作成・改訂、研修・教育の計画・実施		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 2 ) 回 研修の主な内容： 外部講師による研修会の実施、P-mSHELL による事故分析の方法、院内で発生した医療事故の内容と対策の報告及び検討会の実施。			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： 作業環境の巡回点検、医療材料の評価選定			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 4 名 中断： 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度
	1 年	7 名	7 名	10 名
	2 年	4 名	7 名	7 名
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 450 ) 床 ÷ 10 = ( 45 ) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 11,710 ) 人 ÷ 100 = ( 113 ) 名		
23. 当該病院からの医師派遣実績  ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績 <span style="float: right;">→ 募集定員加算</span> 0 名 <span style="float: right;">0 名</span> ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照) ○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 ( 有 ・ ② 無 ) ※ 該当する方を○で囲むこと。			

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
<b>24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		※	1. 精神保健福祉士： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名） 2. 作業療法士： 13 名（常勤： 13 名、非常勤： 0 名） 3. 臨床心理技術者： 2 名（常勤： 2 名、非常勤： 0 名） 9. その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名）
<b>25. 第三者評価の受審状況</b> <small>(基幹型記入)</small>			① 有（評価実施機関名：日本医療機能評価機構（2020年1月6日）） 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small>
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
<b>26. 研修プログラムの名称</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： 埼玉石心会病院臨床研修プログラム プログラム番号： <u>030142310</u>
<b>27. 研修医の募集定員</b> <small>(基幹型記入)</small>			1年次： 10 名、2年次： 10 名
<b>28. 研修医の募集及び採用の方法</b> <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先		刀がナ ゲン シコウ 氏名（姓） 元 志宏 所属 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 診療部 役職 腎臓内科部長  電話：(04) 2953—0909 F A X：(04) 2953—8040 e-mail： <a href="mailto:shikou-gen@saitama-sekishinkai.org">shikou-gen@saitama-sekishinkai.org</a> URL： <a href="http://saitama-sekishinkai.jp">http://saitama-sekishinkai.jp</a>
	資料請求先		住所 〒 350-1305 （ 埼玉県 ） 狭山市入間川 2-37-20  担当部門 法人事務局 医師招聘部 担当者氏名 刀がナ セキ マサアキ 姓 名 関 雅昭  電話：(04) 2953—0909 F A X：(04) 2953—8040 e-mail： <a href="mailto:masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org">masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org</a> URL： <a href="http://saitama-sekishinkai.jp">http://saitama-sekishinkai.jp</a>
	募集方法		① 公募 2. その他（具体的に： ）
	応募必要書類 <small>(複数選択可)</small>		① 履歴書、② 卒業(見込み)証明書、③ 成績証明書、 4. 健康診断書 ⑤ その他（具体的に：採用試験申込書、身上書）
	選考方法 <small>(複数選択可)</small>		① 面接 2. 筆記試験 ③ その他（具体的に：書類審査）
	募集及び選考の時期		募集時期： 6月 15日頃から 選考時期： 8月 15日頃から
	マッチング利用の有無		① 有 0. 無

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 5 ー

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 <small>(基幹型記入)</small>	概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2020年 4月 1日)
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) <small>(基幹型記入)</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	(プログラム責任者) 元 シコウ 氏名(姓) 元 氏名(名) 志宏 所属 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 診療部 役職 腎臓内科部長 (副プログラム責任者) ①. 有 ( 名 ) 0. 無
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 <small>(基幹型記入)</small> すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。	* 別紙4に記入
32. インターネットを用いた評価システム	①. 有 ( <input checked="" type="radio"/> EPOC <input type="radio"/> その他 ( ) ) 0. 無
33. 研修開始時期 <small>(基幹型、地域密着型記入)</small>	西暦 2021年 04月 01日
34. 研修医の処遇 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。
処遇の適用 <small>(基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</small>	①. 常勤 2. 非常勤
常勤・非常勤の別	①. 常勤 2. 非常勤
研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当/月 ( 400,000円 ) 賞与/年 ( 0円 ) 二年次の支給額(税込み) 基本手当/月 ( 450,000円 ) 賞与/年 ( 0円 ) 時間外手当： ①. 有 0. 無 ※固定時間外手当を基礎給に含む 休日手当： 1. 有 ②. 無
勤務時間	基本的な勤務時間 ( 8:30 ~ 17:00 ) 24時間表記 休憩時間 ( 1時間：(例) 12:00~13:00 ) 時間外勤務の有無： ①. 有 0. 無
休暇	有給休暇 (1年次： 10日、2年次： 11日) 夏季休暇 ①. 有 0. 無 年末年始 ①. 有 0. 無 その他休暇 (具体的に：土曜午後、日祭日、特別休暇(結婚、出産、忌引))
当直	回数 (約 4~6回/月)
研修医の宿舎(再掲)	①. 有 (単身用： 20戸、世帯用： 0戸) 0. 無 (住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
研修医室(再掲)	①. 有 ( 室 ) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
社会保険・労働保険	公的医療保険 ( 神奈川県医療従事者健康保険組合 ) 公的年金保険 ( 厚生年金 ) 労働者災害補償保険法の適用 ①. 有 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用 ( 1. 有 ②. 無 ) 雇用保険 ( ①. 有 0. 無 )
健康管理	健康診断 (年 2回) その他 (具体的に )
医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 ①. する 0. しない 個人加入 ①. 強制 0. 任意
外部の研修活動	学会、研究会等への参加： ①. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： ①. 有 0. 無
35. 研修医手帳 <small>(基幹型記入)</small>	①. 有 0. 無
36. 連携状況 <small>(基幹型記入)</small>	* 様式6に記入

※欄は、記入しないこと。

## 7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院（埼玉県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
埼玉県	西部	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院 (病院施設番号:030142)		埼玉県	南部		済生会川口総合病院 (病院施設番号:030137)		埼玉県	西部		さやま総合クリニック (病院施設番号:033723)		埼玉石心会病院 臨床研修プログラム	10
				埼玉県	西部		西埼玉中央病院 (病院施設番号:030140)		埼玉県	秩父		国民健康保険 町立小鹿野中央病院 (病院施設番号:034575)			
				埼玉県	川越比企		川越同仁会病院 (病院施設番号:030143)		新潟県	魚沼圏域		南魚沼市民病院 (病院施設番号:158048)			
				埼玉県	川越比企		埼玉医科大学病院 (病院施設番号:030144)		北海道	根室	追加	知床らうす国民健康保険診療所 (病院施設番号:157877)			
				埼玉県	南西部	追加	埼玉病院 (病院施設番号:030139)		沖縄県	宮古	追加	宮古島徳洲会病院 (病院施設番号:033295)			
				東京都	南多摩	追加	高月病院 (病院施設番号:033332)					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

高月病院は9病棟（516床）を有する精神科研修先である。精神科研修の実績もあり、十分な指導体制のもと、精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的な対応を研修する為、精神科外来や精神科リエゾンチームでの研修、精神科急性期やアルコール疾患の治療から慢性期や認知症疾患の治療まで経験が出来る良質な研修が出来る為。  
南魚沼市民病院、知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院はへき地の医師不足地域における地域医療研修先である。地域医療研修の実績もあり、十分な指導体制のもと、へき地での救急医療、病棟管理、一般外来、在宅医療などの地域医療の経験および基本的な診療能力を身に付けることの出来る良質な研修が出来る為。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 12回）

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ゲン ショウ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	部長	研修管理委員長、プログラム責任者、臨床研修指導医
姓 元	名 志宏			
フリガナ イシハラ ショウイチロウ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	院長	研修実施責任者、臨床研修指導医
姓 石原	名 正一郎			
フリガナ クドウ ヒデユキ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	事務部長	事務部門の責任者
姓 工藤	名 秀行			
フリガナ イケダ ナオフミ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	部長	副プログラム責任者、臨床研修指導医
姓 池田	名 直史			
フリガナ ニシ コウイチロウ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	副部長	救急指導者、臨床研修指導医
姓 西	名 紘一郎			
フリガナ ミズノ トシカズ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	医長	臨床研修指導医
姓 水野	名 寿一			
フリガナ モチズキ アツコ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	部長	臨床研修指導医
姓 望月	名 温子			
フリガナ コウジ ユタカ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	副部長	
姓 小路	名 裕			
フリガナ トキ カズヨシ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	医員	
姓 土岐	名 和芳			
フリガナ ショウジ ワタル		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	医長	臨床研修指導医
姓 庄子	名 渉			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 12回）

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ サカイ トシユキ 姓 酒井 名 利幸	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	副部長	臨床研修指導医
フリガナ マヤマ キンタロウ 姓 間山 名 金太郎	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	放射線部 部長	
フリガナ オオキ タカオ 姓 大木 名 孝夫	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	薬剤部 部長	
フリガナ エンドウ チヨコ 姓 遠藤 名 千代子	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	看護部 師長	
フリガナ ワカマツ ユウジ 姓 若松 名 裕二	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	事務部	
フリガナ セキ マサアキ 姓 関 名 雅昭	社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	事務部	
フリガナ オオヤマ ショウイチ 姓 大山 名 昇一	社会福祉法人恩賜財団済生会支 部埼玉県済生会川口総合病院	部長	研修実施責任者
フリガナ トクヤマ ケンイチ 姓 徳山 名 研一	埼玉医科大学病院	部長	研修実施責任者
フリガナ オアナ シンジ 姓 小穴 名 慎二	西埼玉中央病院	部長	研修実施責任者
フリガナ オオタ カツヤ 姓 高橋 名 恵介	川越同仁会病院	院長	研修実施責任者

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 12回）

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ マツオ コウジ 姓 松尾 名 幸治	埼玉医科大学病院	部長	研修実施責任者
フリガナ ナガセ テルヨシ 姓 長瀬 名 輝諠	高月病院	理事長・院長	研修実施責任者
フリガナ イシハラ オサム 姓 石原 名 理	埼玉医科大学病院	部長	研修実施責任者
フリガナ イシイ ケンジ 姓 石井 名 賢治	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	部長	研修実施責任者
フリガナ カシマキ イサム 姓 上牧 名 勇	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	部長	研修実施責任者
フリガナ ウチダ ノゾム 姓 内田 名 望	国民健康保険 町立小鹿野中央病院	院長	研修実施責任者
フリガナ カケイ マサフミ 姓 加計 名 正文	南魚沼市民病院	院長	研修実施責任者
フリガナ カンノ ソウタロウ 姓 菅野 名 壮太郎	社会医療法人財団 石心会 さやま総合クリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ キジマ マコト 姓 木島 名 真	知床らうす国民健康保険診療所	院長	研修実施責任者
フリガナ サイトウ ノリヒト 姓 斉藤 名 憲人	宮古島徳洲会病院	院長	研修実施責任者

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 12回）

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タケダ ユキヒロ		社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	介護老人施設 わかば施設長	外部委員
姓 武田	名 行広			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院  
 病院施設番号：030142

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	4,440	1934 (18,680)	5,336			( )	( )									11,710
年間新外来患者数	1,098	10,405	990		241			3								12,737
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	40.5 (293)	38.3 (365)	22.9 (293)	( )	3.2 (76)	( )	( )	0.1 (293)	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
平均在院日数	12.9	2.7	15.1													
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	37 (11)	3 (2)	49 (9)	9 (3)	1 (1)	( )	( )	1 (0)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	100 (26)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 令和3 年度分)								臨床研修病院の名称：						
								社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
埼玉石心会病院	内科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
埼玉石心会病院	外科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
埼玉石心会病院	救急科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 令和4 年度分)								臨床研修病院の名称：						
								社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院						
								病院施設番号：030142						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
埼玉石心会病院	内科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
埼玉石心会病院	外科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
埼玉石心会病院	救急科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030142310

病院施設番号： 030142 臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

臨床研修病院群番号： 0301423 臨床研修病院群名： 埼玉石心会病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	埼玉石心会病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修医個人に合わせた研修、手技を経験する事が可能。</li> <li>・ 小児、産婦人科、精神科、地域医療は連携施設にて研修。</li> </ul>				
3. 臨床研修の目標の概要	ジェネラリストの視点で将来専門とする分野に係わらず、医師としての基本的知識、技術、態度を身に付け、科学的思考力と問題解決力を養成する事。				
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 内科、総合診療科の基幹病院				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030142	埼玉石心会病院	32週	0週
	救急部門	030142	埼玉石心会病院	12週	
	地域医療	034575	国民健康保険町立小鹿野中央病院	4週	一般外来 2週
		158048	南魚沼市民病院		在宅診療 1週
		033723	さやま総合クリニック		
		157877	知床らうす国民健康保険診療所		
	033295	宮古島徳洲会病院			
	外科	030142	埼玉石心会病院	12週	0週
	小児科	030144	埼玉医科大学病院	4週	2週
		030140	西埼玉中央病院	4週	2週
030137		済生会川口総合病院	8週	2週	
産婦人科	030144	埼玉医科大学病院	4週		
	030140	西埼玉中央病院			
	030139	埼玉病院			
精神科	030144	埼玉医科大学病院	4週		
	030143	川越同仁会病院			
	033332	高月病院			
一般外来			週		
病院で 定めた 必修 科目				週	
				週	
				週	
				週	
選択 科目	外科	030142	埼玉石心会病院	32週	週
	内科	030142	埼玉石心会病院		週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 84 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 4 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門  
の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 70 回  
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする  
一般外来の研修を行う診療科・・・地域医療、小児科、内科、総合診療科  
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030142

臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

は、既取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 0301423

臨床研修病院群名： 埼玉石心会病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030142310

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			5										
埼玉石心会病院	内科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
埼玉石心会病院	救急										5	5	5	5
埼玉石心会病院	外科										5	5	5	5
埼玉石心会病院	麻酔科													5
埼玉石心会病院	内科						5	5	5	5	5	5	5	5
埼玉石心会病院	救急	5	5	5	5									
埼玉石心会病院	外科		5	5	5	5	5	5	5					
埼玉石心会病院	麻酔科					5	5	5	5					

\* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030142	臨床研修病院の名称： 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0301423	臨床研修病院群名： 埼玉石心会病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール（一年次・**二年次**：いずれかに○） プログラム番号 030142310

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1 (No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
町立小鹿野中央病院	地域医療	2 2 2 2												
南魚沼市民病院	地域医療	2 2 2 2												
さやま総合クリニック	地域医療	2 2 2 2												
知床らうす国民健康保険診療所	地域医療	2 2 2 2												
宮古島徳洲会病院	地域医療	2 2 2 2												
埼玉医科大学病院	小児科		4 4 4 4											
西埼玉中央病院	小児科		3 3 3 3											
済生会川口総合病院	小児科		3 3 3 3	3 3 3 3										
埼玉医科大学病院	産婦人科			4 4 4 4										
西埼玉中央病院	産婦人科			3 3 3 3										
埼玉病院	産婦人科			3 3 3 3										
埼玉医科大学病院	精神科				4 4 4 4									
川越同仁会病院	精神科				3 3 3 3									
高月病院	精神科				3 3 3 3									
埼玉石心会病院	救急科					5 5 5 5								
埼玉石心会病院	選択科						5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5
埼玉石心会病院	救急科													5 5 5 5
埼玉石心会病院	選択科						5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5

\* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	元 志宏	埼玉石心会病 院	部長	16 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	1、4
内科	水野 寿一	埼玉石心会病 院	医長	8 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	小野田 教高	埼玉石心会病 院	副部長	35 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	池田 直史	埼玉石心会病 院	部長	24 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	2、4
内科	阿部 敏幸	埼玉石心会病 院	副部長	15 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	望月 温子	埼玉石心会病 院	部長	29 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	池 信平	埼玉石心会病 院	部長	31 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	野邊 香奈子	埼玉石心会病 院	医長	12 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	柳澤 亮爾	埼玉石心会病 院	医長	16 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	奈良林 至	埼玉石心会病 院	部長	34 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	酒井 利幸	埼玉石心会病 院	副部長	18 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	木戸 知紀	埼玉石心会病 院	副部長	15 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	荻野 健夫	埼玉石心会病 院	副部長	20 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	児玉 ひとみ	埼玉石心会病 院	部長	22 年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	杉浦 良子	埼玉石心会病 院	医長	16年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	清水 喜徳	埼玉石心会病 院	部長	33年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	中村 靖	埼玉石心会病 院	副部長	15年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
外科	庄子 涉	埼玉石心会病 院	医長	13年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
救急	西 紘一郎	埼玉石心会病 院	副部長	18年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
救急	石井 耕士	埼玉石心会病 院	副院長	17年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
脳神経外 科	石原 正一郎	埼玉石心会病 院	院長	33年	○	臨床研修指導医講 習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
脳神経外科	上宮 奈穂子	埼玉石心会病院	副部長	17年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
麻酔科	牟田 寿美	埼玉石心会病院	副部長	15年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
麻酔科	濱口 裕江	埼玉石心会病院	副部長	12年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
麻酔科	長根 亜佐子	埼玉石心会病院	医員	9年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	4
内科	小路 裕	埼玉石心会病院	副部長	22年	×	日本循環器学会認定専門医	030142308/030142309 /030142310	
麻酔科	土岐 和芳	埼玉石心会病院	医員	8年	×	日本麻酔科学会認定医	030142308/030142309 /030142310	

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
整形外科	山田 哲也	埼玉石心会病院	部長	22年	×	日本整形外科学会 専門医	030142308/030142309 /030142310	
心臓血管 外科	加藤 泰之	埼玉石心会病院	部長	24年	×	日本胸部外科学会 認定指導医	030142308/030142309 /030142310	
形成外科	工藤 聡	埼玉石心会病院	部長	29年	×	日本形成外科学会 認定専門医	030142308/030142309 /030142310	
泌尿器科	實重 学	埼玉石心会病院	副部長	20年	×	日本泌尿器科学会 専門医・指導医	030142308/030142309 /030142310	
病理	相田 久美	埼玉石心会病院	部長	23年	×	日本病理学会認定 専門医	030142308/030142309 /030142310	
皮膚科	椎名 雄樹	埼玉石心会病院	医長	7年	×		030142308/030142309 /030142310	
放射線科	山崎美保子	埼玉石心会病院	部長	27年	×	日本医学会放射線 学会専門医	030142308/030142309 /030142310	

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	岡本 信也	埼玉石心会病 院	部長	37 年	×	日本外科学会認定 専門医	030142308/030142309 /030142310	
内科	荒巻 和彦	埼玉石心会病 院	副部長	20 年	×	日本循環器学会認 定専門医	030142308/030142309 /030142310	
内科	根田 保	埼玉石心会病 院	部長	23 年	×	日本糖尿病学会専 門医・指導医	030142308/030142309 /030142310	
リハビリテ ーション科	白石 哲也	埼玉石心会病 院	部長	36 年	×	日本リハビリテーシ ョン医 学会認定専門医・指導医	030142308/030142309 /030142310	
リハビリテ ーション科	西川 順治	埼玉石心会病 院	部長	21 年	×	日本リハビリテーシ ョン医 学会認定専門医・指導医	030142308/030142309 /030142310	
救急	佐伯 有香	埼玉石心会病 院	医員	8 年	×		030142308/030142309 /030142310	
麻酔科	後藤 晃一郎	埼玉石心会病 院	部長	31 年	×	日本麻酔科学会認 定指導医	030142308/030142309 /030142310	

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科	大山 昇一	済生会川口総合病院	部長	36年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
小児科	徳山 研一	埼玉医科大学病院	部長	40年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
小児科	小穴 慎二	西埼玉中央病院	部長	35年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
精神科	高橋 恵介	川越同仁会病院	副院長	29年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
精神科	松尾幸治	埼玉医科大学病院	副院長	25年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
精神科	長瀬 輝誼	高月病院	院長	49年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
産婦人科	石原 理	埼玉医科大学病院	部長	40年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030142

臨床研修病院の名称：社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
産婦人科	石井 賢治	西埼玉中央病院	部長	30年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
産婦人科	中川 博之	埼玉病院	部長	27年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
地域医療	内田 望	町立小鹿野中央病院	院長	23年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
地域医療	加計 正文	南魚沼市民病院	院長	42年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
地域医療	菅野 壮太郎	さやま総合クリニック	院長	36年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
地域医療	木島 真	知床らうす国民健康保険診療所	所長	19年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4
地域医療	斉藤 憲人	内科	院長	16年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030142308/030142309 /030142310	3、4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。